

令和7年度第2回釧路方面中標津警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年10月31日（金）午後1時50分から午後3時15分までの間

2 開催場所

釧路方面中標津警察署署長室

3 出席者

(1) 協議会委員 5人（定員7人）

会長	木庭 繁男
副会長	須郷 洋機
委員	杉本 秀、藤野 貴久、尾上千津子

(2) 警察署員 9人

署長	長田 一彦
副署長	真壁 久
警務課長	増野 広介
会計課長	三上 貴史
生活安全課長	村瀬 寛之
刑事課長	中岡 俊介
地域課長	千葉 篤
交通課長	渡辺 智博
警備課長	堀川 智弘

4 署長挨拶

5 会長挨拶

6 業務概況説明

令和7年9月末における業務概況説明及び警察署の活動状況について説明を行った。

業務概況説明に対する質疑応答はなし

7 質問事項「警察署協議会の在り方と情報発信について」

(1) 質問事項の説明

事務局から当署及び他の警察署協議会の現状について、当署や令和6年度の全道警察署協議会の開催状況等について説明し「警察署協議会の在り方と情報発信」について質問を求めた。

(2) 委員の意見（答申）

ア 協議会の開催回数について

警察側 当署の協議会の年度の開催数は現在3回であるが、以前は4回開催

していたことから開催回数について委員の意見を伺いたい。

委員側 4回開催していた時もあったと聞いたが、現在の回数で十分だと思う。

警察側 提案ですが、事務局から警察署の活動等について、不定期となるが委員に対して情報発信して、協議会での意見に活かしてもらおうと考えていますがいかがでしょうか。

委員側 いい提案だと思います。伝達方法として、事務局と委員の間で情報を共有するためにグループラインのようなシステムを利用してはどうでしょうか。

警察側 公的機関なので、ラインの利用は難しいが、情報共有するために紙ベースにするかパソコンやスマートフォンを利用して情報共有できなかいか検討していきたい。

イ 構成委員数について

警察側 協議会委員定数については、条例で定められており、当署は5名から7名である。現在7名で運営されているが、委員数について意見をいただきたい。

委員側 現状の委員数でいいと思う。

別海町選出の委員が現在1名だが、以前は2名いたと聞いている。1名増やすことはできるのか伺いたい。

警察側 委員の任期は2年となっており、2回に限り再任することができる。よって、次回改選時の参考意見として、委員を選出していきたいと思います。

ウ ほくとポリスの普及について

委員側 ほくとポリスのアプリを利用しているが、大変いいものである。今後も情報発信の場として有効活用してほしい。

警察側 ほくとポリスでは、犯罪発生状況や特殊詐欺関連情報、不審者情報や熊の出没情報など中標津管内の情報のほか、全道の情報も知ることができる優良なアプリです。

警察諸活動や関係各機関を通じて、地域住民へアプリの登録を推奨し、タイムリーな情報発信に努めています。

委員側 地域住民に知ってもらう方法として、チラシを自治体の広報誌に折り込みで入れてもらうのが良いと思うので、自治体担当者に働きかけてみたい。

警察側 ありがとうございます。また、スマートフォン等が利用できない住民にこの地域安全情報を周知するためにどうしたらよいか、今後、意見があればご意見をいただきたいと思います。

エ 警察署ホームページについて

委員側 警察署のホームページは目的の記事にたどり着くのに時間がかかるため見ていない。誰が見ても簡単に見られるようにしてはどうか。

警察側 警察署のホームページは全道統一の部分もあるので、検討していくたい。

8 その他の要望・意見と警察説明

(1) 交通指導員について

委員側 警察と交通指導員との関係性について、教えてほしい。

警察側 交通指導員は、各自治体が事務局となっていますが、交通安全教室や祭事に伴う交通整理など、警察業務とは密接な繋がりがあり、地域に欠かせない存在です。また、登下校時は通学路の見守り活動を行い、児童の安全を確保するなど交通安全に資する活動を行っています。

警察では、その他、地域交通安全活動推進委員という制度があり、地域に精通している人や交通安全に理解のある人などに対し委員を委嘱し、協働して交通安全運動や交通安全啓発活動を展開しています。

(2) 交通規制の許可申請について

委員側 祭典に係る道路使用許可を申請する場合における助言がほしい。

警察側 道路使用許可は、行事の内容や規模によって、許可条件や注意すべき点が異なり、前年踏襲というわけにはいきません。

行事の予定がある場合は早めの相談をお願いします。

9 中標津警察署留置施設視察・見学

10 次回開催予定

令和8年2月上旬から中旬を予定